

第3回 ライフィニティ石打運営推進会議 議事録

開催日時	2025年11月26日（水）13:30～15:30
開催場所	ライフィニティ石打 相談室
参加者	富所、宮澤、田村、常山、内田、桑原（たもんの郷）、須藤（塩沢地域包括） 上一日市長、民生委員、家族代表、南雲（南魚沼消防本部）、井上 進行：田村 書記：内田

1. 研修会

- AED 研修会（救命講習）
- 消防避難訓練

【消防避難訓練の評価】

南魚沼消防本部 南雲 様

全体的に声が小さかったが、施設の大きさを考えると、聞こえていたかと思う。初期消火が一番重要。他の人に応援依頼をかえ、2台の消火器が良い。煙で息が苦しくなり、視界が遮られるため、排煙口をうまく利用する。利用者の最終確認、居室などに残っていないか、居室に排煙装置は付いているため、初期消火に失敗したら、確認後の居室のドアは閉める。閉めることによって煙が広がるのを防ぐ。「閉める」訓練をしてもよい。様々な設定で避難訓練をする事が望ましい。テラスなどから避難する訓練も行ってもよい。

富所 管理者

出火発見後に他の職員を呼ぶよりも先に自ら消火器を取りに行ってしまった。3人の打ち合わせができていた。利用者への声掛けが少なかったように思える。

塩沢地域包括 須藤 様

認知症の方も多く、対応が難しかったと思う。しっかり避難誘導ができていた。

利用者家族代表 様

利用者さんも避難訓練に対して前向きに参加していた。普段からの信頼関係が構築できているのだなと感じた。

上一日市長 様

避難者の優先順位、役割分担、伝達ができているか再度確認が必要と感じた。

2. 看多機の現状報告

- (ア) 令和7年11月は利用登録者29名となっている。施設内にて10月末から11月上旬にかけて新型コロナウイルス感染があり、利用者様には迷惑をかけてしまった。
- (イ) これから冬期に入るが、旅館民宿やスキー業看権者もおり、「泊り」の利用が多くなることが予想される。契約者が多くなったことにより、看多機の機能性の良い面である「通い」「泊り」について、追加利用の受け入れが難しい日もでてきている。火・木・土曜日が定員上限に達する日がある。
- (ウ) 行事報告として、11月はドライブの計画を立てていたが、新型コロナウイルスのまん延のため、中止した。代わりに「芋煮会」へ変更し、ご利用者様に手伝っていただきながら鍋を行った。

(エ) 今回の新型コロナウイルス感染まん延の反省を介護職員で行い、今後は感染があった場合に職員が統一して動けるように体制を整えていく。

3. 利用者現状報告

(ア) インシデント・アクシデント報告

別紙資料を参照

4. 訪問看護ステーション報告

(ア) 終末期になると、1日に複数回の訪問になってしまうなど、一時的に多忙となるが、自宅での看取りに関しては、一緒に伴走する気持ちで寄り添い、ご家族様の満足につながっている。

(イ) 新規の訪問看護依頼も頂いており、リハビリの枠は定員に達しそうである。

(ウ) 地域の居宅ケアマネからの依頼は入浴介助の依頼が多い。その他、病院からは医療保険での介入やがん末期などの依頼があり、可能な限り対応している。

5. 参加者からの意見要望

(ア) 利用者家族代表 様

看多機施設で最大限の対応をしてくださり、助かっている。

(イ) 民生委員 様

今年度まで要支援名簿が最後になる。来期より避難行動要支援名簿となり、75歳以上と障がい者対応となる。これまでの要支援者名簿の65歳の方はほとんどが仕事をしているため、確認しなくてよいとお知らせがあった。また、あ要介護3~5の高齢者が増えてきているため、高齢化の波が厳しい。ライフィニティ石打のような施設の重要性が増している。

(ウ) 上一日市長 様

除雪に関して、現在、歩道を整備しているが、除雪がどのようになるかについて、話を詳細にしていく。信号機の設置についても再度検討をすすめていきたい。ボランティはについて、声掛けを行ったが、働いている方が多く、なかなか進展しない。

(エ) たもんの郷 桑原 様

避難訓練がとても参考になった。自施設に担架がないので、道具の見直しも必要だと感じた。人員の少ない夜間を想定した訓練を年に1度行っている。

(オ) 塩沢地域包括 須藤 様

職員の皆さんがとても一生懸命やっていると思う。上下関係がない感じで良いと思った。普段から情報収集をして「知る」という事が大切。聞いて伝えることが大切であり、そこからちょっとしたお手伝いに地域の方に伝わっていくと思う。

【次回 開催日時等】

<日時> 2026年3月18日13時30分～予定

<会場> 看護小規模多機能ライフィニティ石打